

どうしたらいいのかな？

亀田クリニックサービスガイド

～よくご質問をいただき事柄に回答します～

Q



館内でWi-Fiは利用できるの？

無料Wi-Fiが利用可能
ネットワーク名(SSID) : kameda-wifi
セキュリティ : WPA2
パスワード : kamedafw
※利用者が多い時間帯は通信速度が遅くなる場合があります。



スマホの電池が無くなりそう…充電できるの？

2階・4階 公衆電話隣
USBケーブル設置
Micro USB Type-B(2.0)
USB Type-C、Lightning



常温の飲み物はどこで買えるの？

3階 エレベーター乗降口付近の自動販売機で購入可能
現金ほかQR決済対応
ペットボトルオープナーも設置



荷物を預かってもらえるの？

1階 青山フラワーマーケット裏
コインロッカーを設置
利用可能時間 8:00～20:00
利用料 1回 100～200円



忘れ物はどこに問い合わせるの？

・亀田クリニック代表番号(04-7099-2211)
・ホームページの「ご意見・お問い合わせ」
※老眼鏡や診察券、傘などの忘れ物が目立ちます。食べ物や飲料は、衛生管理上廃棄させていただきます。

A

クリニック事務長に聞きました

Q 予約電話のつながりやすい時間帯はありますか？

A つながりやすい時間帯

14:00以降 週の後半

※必ずつながるわけではありません
お手元に診察券をご用意の上、お電話ください。

つながりにくい時間帯

午前中 週の前半/連休明け

直近の日程で受診したいという方には医療情報管理アプリ「NOBORI」によるWEB予約(整形外科、皮膚科、耳鼻咽喉科)がおすすめです。

Q 自分より後に会計を済ませた人が、先に薬をもらっていました。なぜですか？

A お薬は会計順でつくられています。診察後、医師が処方オーダーを薬剤室に入れ、それを受けて薬剤室で準備が進められます。そのため、用事を済ませた後で会計した場合も、薬のできあがりにかかる時間は変わりません。

Kタワー

24時間面会が可能に

面会ルールを見直し、Kタワーで24時間面会が可能となる「サポーターカード」の運用を再開しました。患者さまが希望する方2名までカードの発行申請ができ、入院期間中は24時間、いつでも面会にお越しいただけます。

【手続き窓口】

Kタワー1階コンシェルジュ・サービスセンター
対応時間 8:00～17:00



なお、他の病棟(A棟、B棟、E棟)や、Kタワーでも一般のお見舞いの方やお産にかかわるKタワー3階(NICU含む)とKタワー4階の患者さまへの面会は、引き続き14:00～18:00となります。面会には手続きが必要です。まずはKタワー1階コンシェルジュ・サービスセンターへお立ち寄りください。

面会のルール



院内ではマスク着用



一度に入室できる人数は3人まで



1日1回 30分





ザ イビキ
そのイビキ、顎が小さいことで
起きているかもしれません??

顎変形症治療センター長・歯科口腔外科 外木 守雄
睡眠医療歯科専門医

第6話 **こどもの睡眠、異常に早めに気づくことが大切です**

前回は、顎が小さい場合、手術で閉塞性睡眠時無呼吸(OSA)の治療ができることをお話ししました。今回は小児の睡眠関連呼吸障害(Sleep related breathing disorder:SRBD)についてお話しします。

大人と同様に、こどももOSAになります。しかし、こどものOSAの病態は大人と違ってかなり様相が異なります。大人は肥満や顎が小さいことなど直接気道を傷害する原因が明確にありますが、こどもは、その成長期、性差、年齢、体重などのさまざまな生理的要因が複雑に絡み合い、明確な理由なしにOSA症状を発症することがあります。また、季節によって症状が変化することも特徴です。臨床症状としてこどものOSAは、めったに息は止まりません！これは、こどもは脳発育のため大量に酸素を必要としているため、息が止まらないように呼吸努力がとて強く働きます。大人は1時間あたり20回以上息が細くなったり、止まったりすると重症と判定されますが、こどもの場合1回でも10秒以上の呼吸停止があれば重症と判断されます。このように、どんなことをしても呼吸を維持しようとするので、寝相が悪くなります。夜、自分の隣に寝ていたはずのこどもが、朝、全然別なところに寝ていた、という経験がありませんか？呼吸を維持するために寝相が悪いのは生理的な現象で仕方のないことかもしれません。まずは、寝る前に鼻をかむなど、鼻の通りをよくして、寝相が悪くても大丈夫なように安全な睡眠環境を整えましょう！

また、こどものOSAと顎顔面形態は密接に関連することがわかってきています。

3~7歳頃までこどもの下顎は小さいことが普通で、逆にこの時期に下顎が前に出て上の歯と下の歯が反対咬合になっていると何らかの気道障害が疑われます。こ

れは、息を楽にするために習慣として下顎を前に突き出していることが予想されます。また、10歳以上で上顎が大きく、下顎が小さい場合、これも気道になんらかの呼吸障害の可能性がります。上下の顎は物を食べるために大切な場所ですが、睡眠時に息がうまく吸えていないと、予期しない顎変形症をもたらす危険性があります。生理学的機能の不調和が、顎の形態不調和を誘発するといえます。

お子さんで、睡眠中に大きなイビキをかくことはもちろん、苦しそうに息をしている、胸がペコペコしているなどの症状があり、息が頻繁に止まるという場合は要注意です。また、その子が日中も“お口ポカン顔”で口が開いているなどの症状があれば、一度専門医の受診をおすすめします。診察の流れを記載しましたので、参照してください。



① 開口がある ② 睡眠中の様子を見て心配になることがある
③ 大きなイビキをかく ④ 胸がペコペコへこむ ⑤ 苦しそうな息をしている ⑥ お口ポカン

①~⑥が全て当てはまり、さらに息が止まることがない → 上気道抵抗症候群の疑いあり
ある → 閉塞性睡眠時無呼吸症の疑いあり

閉塞性睡眠時無呼吸症の危険なサイン

【睡眠中の様子】 ・目をさます ・せき込む ・寝汗をかく ・首を反らす	【日中の様子】 ・落ち着きがない ・話を聞かない ・鼻づまりがある	【身体の様子】 ・中耳炎になりやすい ・扁桃肥大 ・アデノイドあり
--	---	---



“寝る子は育つ”で、より良いこどもの成長を見守りましょう！

医療エッセイのバックナンバーはここから→
ご覧ください。
<https://medical.kameda.com/general/about/magazine/index.html>



医師紹介

はしもと 橋本 しょう 医師

- ①担当科目
- ②診療における得意分野
- ③趣味
- ④ひと言



- ①脊椎脊髄外科(部長代理)
- ②脊椎・脊髄 脳神経外科一般
- ③ゴルフ
- ④脊椎脊髄の分野には早期診断、早期治療で進行をとめられる疾患が多くあります。しびれ、痛みがある方は当科を受診してみてください。



Kameda Medical Center

亀田ホームページ <https://www.kameda.com>